

国民の皆さまへ

日本年金機構への不正アクセス事案では、皆さまの年金情報が流出し、ご迷惑、ご心配をおかけしております。申し訳ありません。

政府は、皆さまの年金を守ることを最優先に取り組んでいます。あわせて、皆さまにお気を付けいただきたいことがあります。

「年金情報流出」を口実にした犯罪にご注意ください!

日本年金機構を名乗って口座番号を聞き出そうとする者や、「流出した個人情報削除してあげる」と持ちかけてくる者が現れています。

- 日本年金機構から、この件でお客さまに電話やメールで連絡することは、一切ありません。なお、流出が確認された方への新しい基礎年金番号は、郵送でお知らせします。
- 日本年金機構が、この件でお客さまにお金やキャッシュカードを要求することは、一切ありません。
- 日本年金機構が、この件でお客さまにATMの操作をお願いすることは、一切ありません。

ご自分の情報が流出しているのでは?など、ご心配の方は、下記専用電話窓口またはお近くの年金事業所へご相談ください。

日本年金機構 専用電話窓口 (通話料はかかりません)

0120-818211

受付時間8:30~21:00(平日及び土日)

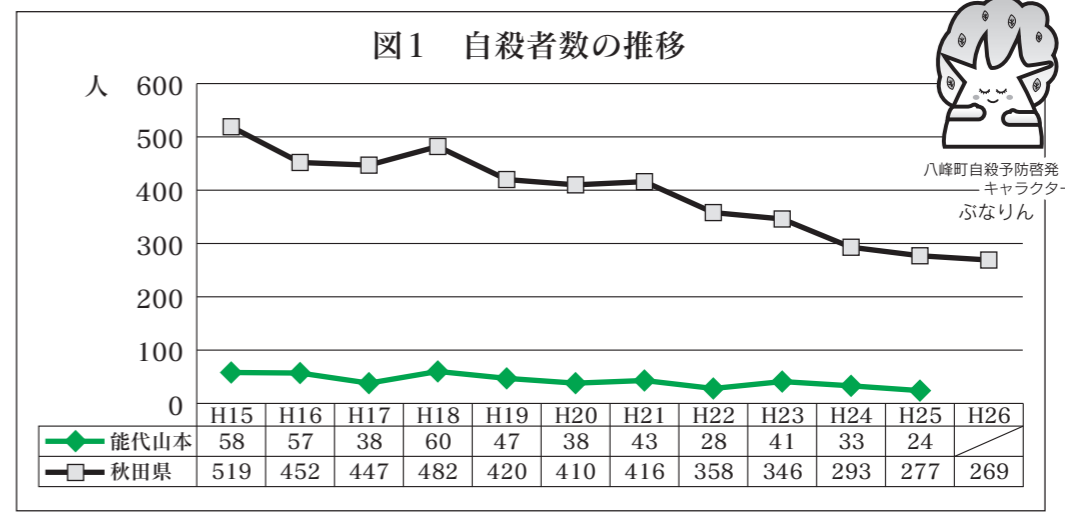


健康はっぼう21ひろば

自殺予防は地域ぐるみの支え合い

秋田県の自殺予防対策は「民間・大学・行政」が連携・協力して行ってきました。その結果、平成26年の秋田県の自殺者数は269人で前年より8人減少し、一番多かった平成15年の519人に比べると約半分に減少しました。能代山本管内も同様に減少しています。(図1)

しかし、今年1月~6月の自殺者数は昨年同期より17名上回っており、年代別では80歳以上の高齢者と20代の若者の増加が目立っています。



八峰町でも平成18年度から自殺予防対策を始め、各方面から協力を得てさまざまな取り組みをしてきました。特に自治会ごとに実施している「心の健康づくり懇話会」では、自殺予防について地域の方々と話し合いを重ねることで、「自殺」は個人の問題ではなく社会の問題だということを少しずつわかってもらえるようになりました。自殺者数も減少傾向にあります。

自殺の原因や動機で多いのは健康問題や経済・生活問題ですが、自殺は問題が重なり合って個人が追い込まれた末に起こると言われています。今後も健康増進計画「健康はっぼう21」の最終目標『自殺者ゼロ』を目指し、町民と一緒に地域ぐるみで取り組みをすすめていきたいと思えます。

八峰町の主な自殺予防対策

自殺予防フォーラム、心といのちのカレンダー、心のふれあいサポーター養成、ハート文庫、生活とこころの無料相談会、ひきこもり相談会、ほっと健康相談、陽だまりの会交流サロン、精神障害者の会「のんき会」など

「白瀑神社」にて
「おらほの館」にて

■問合せ先 八峰町福祉保健課 健康推進係 ☎76-4608

自殺予防キャンペーンのようす (8月1日)